

せること。		
3 限目 テーマ:マレーシアの環境問題と環境保全の現状 ねらい: マレーシアの問題を自分や日本と関連付けて考えること。	(1) マレーシアの人々と動物のくらしをふり返って、自分たちができることや、日本ができそうなことを考える。 (2) インターネットで取り上げられているマレーシアの環境問題と環境保全の現状を調べる。 (マレーシア SD オセロのくじに使用する。)	(1) ワークシート (2) 筆記用具
4 限目 テーマ:マレーシアの開発と環境保全 ねらい: 発展を維持しながら、環境保全することの重要性に気づかせること。	(1) マレーシア SD オセロ(資料⑤)を通して、人々の暮らしと動物の暮らしのバランス関係を疑似体験する。 (2) 最後にグループで、マレーシアの開発と環境保全のバランス関係をオセロで表し、これからのあり方を考える。	(1) 基盤シート (2) 1、2限のメッセージ入りの牛乳のふた (3) 3限のワークシートから作ったくじ (4) アンケート

<授業実践の詳細>

1 限目

バジュークランを着てマレー語で自己紹介をしたあと、白地図でマレーシアの位置をあてさせ、マレーシア・ボックス(資料①)を始めた。各班1名にスーツの中身を取りに来てもらい、グループごとにそれが何かを考え発表させた後、スライドを見ながらそれぞれについて説明をした。子どもらは、イスラム教の決まりやシャワーやトイレの仕方について、驚きを隠せない様子だった。次に、マレーシアから子どもたち全員に送った絵葉書の写真を見ながら、グループ分けをした。(一人ずつ写真が違い、書いてある内容も写真に関連しながら一人ひとり違うことを書いたものである。)建物と動物の絵葉書に分け、マレーシアが多民族国家であることや、都市発展が進んでいることに注目した。最後に、資料②③の内容を付け加えながら農村の子ども達の生活を伝えた。貧富の差に着目させ、牛乳のふたに自分の願いを書かせた。(図1)授業をしていて、伝えたいことが多すぎて時間が足りないと感じた。

村の子供たちの生活がどうなったらいいと考えますか。

- ・ 発展するところから、電気をもらったらいい。
- ・ 電気が通って、学校に通えるようになったらいい。
- ・ 日本みたいに誰でも学校に行けて、どこでも電気がつくように。
- ・ 電気を通してあげたらいい。



図1 農村の子どもへのメッセージ

- ・ お風呂でお湯がでるように。
- ・ 水道がきちんとして、豊かになったらいい。
- ・ 国がお金を出したらいい。
- ・ 子供が仕事をせず、学校に行けるようになったらいい。

2 限目

スライドを用いて、マレーシアにある果物や植物、昆虫を紹介し、その中のいくつかを切手シートと記念品のコピー（資料④）の中からグループで探させた。（図2）次に、前時の復習でパーム油が日本に欠かせないことや、農村の子どもたちが豊かに暮らすために必要なことを思い出させ、そのパーム油の畑が動物の住みかを奪っていることを伝えた。さらに、ロッカウイ動物園の動物について保護されたときの状況を知らせ、動物に対する自分の願い牛乳のふたに書かせた。（図3）



図2 ラフレシアはどこかな？

動物たちのくらしがどうなったらいいと思いますか。

- ・ パーム油も大事だけど、動物のすみかも大切にする。
- ・ 殺したりしないで、動物たちと一緒にくらししてほしい。
- ・ 人間がほかの動物のことを考えて、共存できたらいい。
- ・ 動物たちが食べたいものを食べれるように。
- ・ 動物が住める場所をたくさんつくる。
- ・ 絶滅をしないように、動物も豊かな暮らしをしてほしい。
- ・ 動物もみんな平等に豊かにくらせるようになったらいい。

○他の感想

- ・ 動物と人間のバランスをとるのは難しいけど頑張れ！
- ・ ピグミーゾウ達は全く関係ないのに、命がおびやかされてかわいそう。
- ・ 自分たちのせいですみかがなくなっていくなんで、とつてもかわいそう。けど、私たちにとつても（パームオイルは）大切なものだし・・・



図3 動物への自分の願い

3 限目

1, 2 限目の授業を思い出して、自分や日本が農村の子どもや動物のためにできること、できそうなことを考える。その後、インターネットで取り上げられているマレーシアの環境問題と環境保全の現状を調べ、ワークシートに書かせた。

マレーシアが発展して子ども達の生活を豊かにするために何をすることができるかな。

・少しでもいいから募金をする。・みんなで協力してお金を集める。・資金援助を国が行う。・日本の職人が技術を教える。・電気を通してあげる。・日本にあるものを送る。・学校を建てる。・マレーシアの絵葉書などを売る。・電気製品を送る。・ボランティアをする。

マレーシアの動物たちの生活を豊かにするために何をすることができるかな。

・ パームオイルを使わないようにする。・必要な分だけパームオイルを使う。・パームオイルの畑をこれ以上増やさない。・パームオイル以外で発展できるようにする。・森林伐採をやめる。・木を植える。・動物病院のための寄付をする。・保護のための動物園を作る。・日本の保護の仕方や動物を紹介する。・土地を買い取り動物が住める場所を作る。・色々な国で会議をする。・物を大切に使う。・募金をする。

マレーシアの発展が原因で起こっている環境問題には、どのようなことがありますか。

・ 森林が農地になり、生物が生きることができない。・農地にしかけた罠でゾウが死んでしまう。・ごみ問題・昆虫の減少・ゾウが分断され、移動が困難になる。・森林破壊による二酸化炭素の増加が地球温暖化を促進している。・2秒でサッカーコート1面分の森林が消えている。

マレーシアの環境を守るために、実際にどのような取

り組みが行われていますか。

・ 植林活動をしている。(マレーシアの住民、富士通、国連、新日本石油開発など)・自然保護区を作り、動物が保護されている。・APECの募金活動・サラヤが売上げの1%を緑の回廊計画に使っている。サラヤが環境保全活動をしている野生生物局に車を寄付した。・野生生物保護区を設ける。・サラヤが傷ついたゾウを救助する活動として、1250匹以上を助けた。※このワークシートは切り取って、4限のマレーシアSDオセロのくじとした。



図4 ワークシートを切り分けて作ったくじ

4 限目

マレーシアSDオセロゲーム（資料⑤）を通して、人々の暮らしと動物の暮らしのバランス関係を疑似体験し、開発と環境保全のあり方を考えさせた。

最後に一人ひとり、ワークシートにマレーシアの森林の割合はどのくらいと思うか色をぬりつぶさせ、これからはどうしたいかを考えさせた。（資料⑥）

<資料>

資料① マレーシア・ボックス

サロン



ワヤンクリット



ワウブラン



MPOBパンフレット



機内でのお祈りの仕方



セパタクロー

※これらに関連する土産物や写真なども合わせて紹介した。

資料② ILO駐日事務所 ホームページ

<http://www.ilo.org/public/japanese/region/asro/tokyo/ipec/facts/sectorial/agricult/07.htm>

◆コスト削減のため、契約者は6～8時間の労働に対して1米ドル以下で子どもを雇う。一般的な大人の賃金は2ドルから3ドルである。

◆子どもは朝の5時半から仕事を始めるが、15時より早く帰れることはない。

資料③ 貧困プロフィール マレーシア 2001年2月 国際協力銀行

マレーシア政府は学校教育のIT化を推進してきたが、コンピューター作動に必要な電気の整備については、1996年の時点で、全国の小学校約7000校のうち1,295校、中等学校1,500校のうち25校が未だに電化されていないとされる。

資料④ 切手シート、記念品のコピー

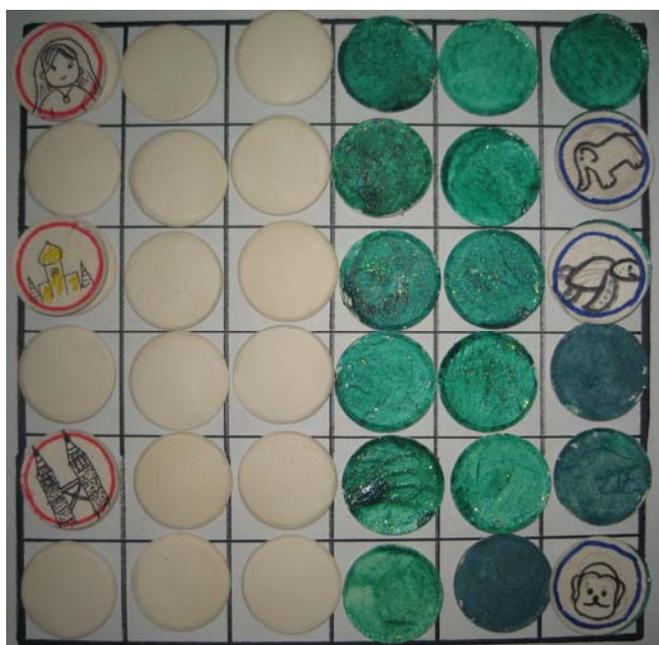


資料⑤ マレーシア SD (sustainable development) オセロ

オセロはリユース (Reuse) の考えのもとに、牛乳のふたに緑色をぬったものを使用する。

<準備>

- ・地球の限りある大地を 6×6 のマスとする。
(白のオセロを人間が開発した土地として 6×3 敷きつめ、緑のオセロを自然にある森林として 6×3 敷きつめる。)
- ・白のオセロの上には、マレーシアの農村の子どもや町の様子を模したコマを3つ、緑のオセロの上にはマレーシアの動物のコマを3つ好きなところに置く。(1, 2 限に作成した牛乳のふたのコマ)
- ・開発側と環境保全側の活動を書いたくじを準備する。(3 限に作成したワークシートを切り分けたもの)



<ルール>

- ・1手でできることは、「①相手のオセロを1枚ひっくり返す。」「②自分のコマを1歩動かす。」「③くじをひく。」のいずれか一つ。
 - ①の場合、ひっくり返すことができるのは、自分の色のオセロと隣り合う所のみ。
※ななめ隣でもよい。オセロのように相手の色のオセロを挟み込めばひっくり返すことができる。
 - ② ななめに動いてもよい。自分や相手のコマと重ねることはできない。
 - ③ くじには、開発側、環境保全側の活動や取り組みと1手か2手の手数が書かれている。2手のくじを引いたら一度に2手行うことができる。
- ・コマは、オセロのように挟むか、身動きできない状態にすれば取るすることができる。3つともコマが取られたら負け。

資料⑥ 最終アンケートの結果

スラマッパギ！マレーシア

6年 ()

今、マレーシアでは、森林の割合はどのくらいかな？
予想して色をぬりつぶしてみよう。

●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

これからはどのくらいにしたい？

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

<マレーシアの探検を通しての感想> 1週間オイルパッカーの
毎日と暮らすことが出来るようになったり、クワなどを使い
ながら、物々屋まわりの楽しみは、今と違って
かするオイルパッカーのクワ、あそびが楽しかった。

スラマッパギ！マレーシア

6年 ()

今、マレーシアでは、森林の割合はどのくらいかな？
予想して色をぬりつぶしてみよう。

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

これからはどのくらいにしたい？

○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

<マレーシアの探検を通しての感想>
オイルパッカーをくわで削ることが出来ることに
マレーシアでは日本の人達以上に道具が便利
なものをたくさん見ることが出来た。